地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2020
4月
No.71

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

[診療科紹介]

新生児内科
病理診断科

●[AGMCニュース] 大盛況！！ 第1回クリニカルパス大会

●ぶらり～っと病院探訪　●患者さん・ご家族への病状説明等について

●病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について　●ご寄附のお願い

新生児内科

赤ちゃんにやさしい医療を提供します

新生児内科ではNICU・GCUで早産児、低出生体重児、先天性の病気をもつ新生児、黄疸、感染症、嘔吐、痙攣などを新生児期に発症した児の治療を行っています。周産期医療センターNICU・GCUでスタッフ一同赤ちゃんに最善の医療を提供できるように努めています。

後列左から：岩橋医師、飯尾医師、髙橋医師、吉田医師
前列左から：西田医師、北村医師、松島医師

構成メンバー

■新生児内科スタッフ6名
西田吉伸、飯尾潤、北村律子
松島智恵子、髙橋知也、吉田淳史

新生児内科（集合写真）

提供する活動内容

- 総合周産期医療センター新生児部門として新生児集中治療とその後のフォローアップ
- 神経学的予後改善をめざした呼吸・循環管理、栄養管理
- 出生前から入院中、退院後に至るまで看護師、MSW（医療ソーシャルワーカー）、リハビリテーション科療法士、心理士、栄養士の協力をえた総合的な支援

地域医療機関の先生方へ

新生児期の様々な疾患に対応できるように先天性心疾患、新生児外科疾患、脳神経外科疾患、形成外科疾患などに対し、関連科の協力をえて診療しています。退院後のフォローアップ外来やシナジス外来も担当しています。

病理診断科

病（やまい）の理（ことわり）を診る

病理診断科 科長

山本 鉄郎

- 日本病理学会専門医･指導医･評議員
- 日本臨床細胞学会専門医･指導医
- 死体解剖資格

病理診断科 専攻医

合田 直樹

- 日本病理学会会員
- 日本臨床細胞学会会員
- 死体解剖資格

病理診断科 専攻医

彌重 このみ

- 日本病理学会会員
- 日本臨床細胞学会会員

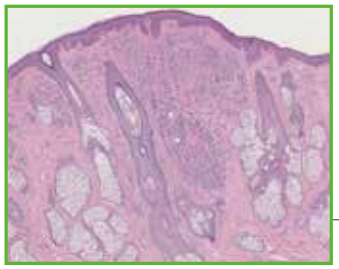
構成メンバー

■病理診断科医師3名、臨床検査技師9名（細胞検査士6名を含む）、秘書1名

提供する活動内容

当科が担う主な診療は、病理組織診断、病理細胞診断、術中迅速診断、病理解剖、セカンドオピニオンです。病理検査は肉眼的観察や顕微鏡を使って患者さんの臓器･組織や細胞を詳しく調べ、病気の診断名を確定するために行う非常に重要な検査です。病理検査室では、組織や細胞を薄く貼付けて染色したプレパラートと呼ばれる顕微鏡観察用標本を作製します。それらを病理医が顕微鏡で見て診断を行い、主治医に結果を報告します。

病理診断科が扱う病理学は長い医学の歴史とともに存在し、病気そのものの形態的変化を観察･診断する臨床医学の側面とその病態･病因を研究する基礎医学の側面を併せ持つ、欠かすことのできない分野です。組織や細胞を採取して調べる必要がある疾患に関して、ほぼ全科の患者さんの診断に関わります。



患者さんや地域医療機関へのメッセージ

病理医が直接患者さんと対面することはほとんどありませんが、多種多様な疾患が集まる当院でも、精度の高い診断･迅速な対応を心がけたいと考えています。

AGMC ニュース

第1回 大盛況!! クリニカルパス大会

「クリニカルパス」ってご存じですか？

医療関係者でなければ、あまり聞き馴染みのない言葉かと思います。

1つの疾患に対して、様々な治療法が確立されている昨今。患者さんの状態に合わせて、最適かつ効率的に治療を行うための入院診療計画書、それが「クリニカルパス」です。

患者さんには入院中の治療内容を分かりやすく記載した「患者用クリニカルパス」をお渡ししていますが、これは治療に携わる医療スタッフにも大きなメリットがあり、治療計画を共有し、チーム医療を行うことで、医療の安全や質の向上にも役立っております。

そして、来たる2020年2月28日(金)クリニカルパスの活用事例発表会「第1回クリニカルパス大会」が開催されました。会場となった当院1階講堂は、ほぼ満席状態。サテライト会場も活用し、非常に多くの医療スタッフにご参加いただきました。

大会の演題は全部で6つあり、それぞれの部署におけるクリニカルパスの効果的な活用事例や今後の発展的な活用手法などについて発表がなされました。最優秀演題は看護部ケアプロセス委員会＋PFMチームの「患者用パスの活用」、優秀演題に整形外科+10階西病棟看護師の「アウトカム評価からのパス改訂」が選ばれましたが、平家院長からは「6つの演題はどれも素晴らしく、非常に甲乙つけ難かった。」とのコメントを頂きました。

演題発表の他にも、参加者へのアンケート中に大会当日に至るまで取組み(打合せの様子)をショートムービーで上映するなどをし、大盛況の中「第1回クリニカルパス大会」は幕を下ろしました。

当院における「クリニカルパス」の活用はまだまだ発展途上で、より有効・有用なものとなるよう日々改善に取組んで参ります。大会に携わっていただいた皆様、ご協力いただきありがとうございました。

▲ 看護部ケアプロセス委員会+PFMチームの「患者用パスの活用」

▲ 整形外科+10階西病棟看護師の「アウトカム評価からのパス改訂」

ぶらり～っと 病院探訪

縁の下の力持ち

中央監視室

今回は中央監視室を訪ねました。当院では、津波の被害に備え4階にあるのが特徴で、パソコンやモニターなど電子機器がところ狭しと並んでいます。

ここには職員が24時間365日常駐しており、病院施設の点検・修繕を担当しています。空調の管理や電気、水道、ガス等の安定的なエネルギー供給、エレベーター稼働状況や防犯カメラのモニターチェックによるセキュリティシステムの運用を担っています。

隣の部屋には空調設備、ボイラー、館内に温水・冷水を送水するポンプ等の機械が並び、初めて見る数多くの装置に圧倒されました。

昨年西日本に大きな被害をもたらした台風19号の際には、当院でも停電となりました。72時間分の電力を供給出来る自家発電装置が初めて稼働し、復旧までの重要な役割を果たしました。

これからも多くのスタッフや患者様が過ごす院内を快適な環境で維持するために、建物・設備の監視や日常的な保守点検を日々行っていきます。

お知らせ掲示板

患者さん・ご家族への病状説明等について

日頃は、当院の診療にご協力いただき有難うございます。さて、医師の長時間労働に伴う健康被害が社会的問題として大きく取り上げられ、厚生労働省より、全ての医療機関に対して、「働き方改革」の趣旨に基づき、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みが求められています。

これを受け、当院の取組みとして、「患者さん、ご家族への病状説明等」を「平日の日勤時間内(9:00～18:00)」に実施させていただく方針としました。

病状の変化等により診療科から申し出る場合を除いて、患者さん、ご家族の都合による土曜、日曜、祝日、又は時間外の病状説明等のご依頼は、お断りする場合がございますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

病院敷地内及び敷地の周囲での禁煙の徹底について

このたび、県の受動喫煙の防止等に関する条例が改正され、令和元年7月1日より一部施行されました。当院においては、これまでより敷地内禁煙の遵守に取組んできましたが、禁煙の範囲を、敷地内に限らず、敷地の周囲にも拡大しております。また、紙巻式タバコ、加熱式タバコに加え、電子タバコについても禁煙の対象としており、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れておりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●**寄附の使途**　ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●**寄附のお申し込み・お問合せ先**　兵庫県立尼崎総合医療センター　経営企画部経理課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)

編集後記

出会いと別れの春がやってきました。区切りの季節にふさわしく、あちらこちらから、「お世話になりました。」「どうぞよろしくお願いします。」の声が聞こえてきます。大変なことも色々あるけれど、ポカポカした陽気と鮮やかな新緑に元気づけられている今日この頃です！　(S.O.)

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000(病院代表)　FAX 06-6480-7001
URL：http://agmc.hyogo.jp/
兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社